

令和6年度第1回区民集会運営協議会

令和6年7月31日（水）

第1・2委員会室（区役所8階）

- 1 正副座長について

- 2 区民集会活動概要について

- 3 今年度の区民集会運営協議会の進め方について
テーマ：「これからの地域コミュニティの形成と継承」

- 4 その他

【資料】

- 資料1 令和6年度区民集会運営協議会名簿
- 資料2 令和6年度区民集会運営協議会座席表
- 資料3 区民集会活動概要
- 資料4 令和6年度区民集会・区民集会運営協議会開催概要

- 参考資料1 区民集会運営協議会設置要綱
- 参考資料2 令和5年度第3回区民集会運営協議会資料（講義資料）

委嘱状

令和6年度区民集会運営協議会名簿

連合町会長

役職名	氏名
麴町出張所地区連合町会長	横山 義文
富士見地区町会連合会長	久保寺 健郎 (★)
神保町地区町会連合会長	望月 正 (★)
神田公園地区連合町会長	中曽根 利光
万世橋地区町会連合会長	佐竹 信敬 (★)
神田駅東連合町会長	篠田 健治 (★)
岩本町東神田町会連合会長	小澤 正治 (★)
秋葉原東部町会連合会長	小林 一治 (★)

★…今年度新任された連合町会長

区議会議員

役職名	氏名
区議会議長	秋谷 こうき
区議会副議長	池田 ともりのり
議会運営委員会委員長	小野 なりこ
議会運営委員会副委員長	大坂 隆洋
議会運営委員会委員	小枝 すみ子
議会運営委員会委員	米田 かずや
議会運営委員会委員	牛尾 こうじろう
議会運営委員会委員	岩佐 りょう子
議会運営委員会委員	春山 あすか
議会運営委員会委員	白川 司
議会運営委員会委員	永田 壮一
議会運営委員会委員	田中 えりか
議会運営委員会委員	林 則行

理事者

役職名	氏名
麴町出張所長	小目 文雄
和泉橋出張所長	宮原 智紀

事務局

役職名	氏名
区議会事務局長 (次長事務取扱)	石綿 賢一郎
区議会事務局 調査担当係長	山本 正洋
区議会事務局 庶務係	濱本 美那

令和6年度区民集会運営協議会座席表

区民集会運営協議会
資料2
令和6年7月31日

岩佐
議員

池田
副議長

麴町
横山会長

富士見
久保寺会長

春山
議員

小野
議員

神保町
望月会長

麴町
出張所長

白川
議員

大坂
議員

神田公園
中曽根会長

和泉橋
出張所長

永田
議員

小枝
議員

万世橋
佐竹会長

田中
議員

米田
議員

神田駅東
篠田会長

林
議員

牛尾
議員

岩本町東神田
小澤会長

座長
秋谷議長

副座長
秋葉原東部
小林会長

区議会事務局
局長（次長
事務取扱）

区議会事務局
（操作卓）

出入口

出入口

区民集会活動概要

(1) 区民集会の目的

区政を取り巻く状況が刻々と変化する中で、区民自らが歴史と伝統に培われた千代田区を守り発展させていくため、区民と区議会が一体となって地域の抱える諸課題に対して、主体的に取り組み議論する場として、昭和58年度から「区民集会」を開催している。

この区民集会の開催にあたり、企画及び運営等に関する協議の場として、連合町会長8名及び区議会議員で構成する「区民集会運営協議会」を設置している。

(2) 近年の開催状況

令和3年度は、桜井ただし議長を座長としてテーマの検討を行った結果、「お濠の浄化について」取り組むことを決定。12月にはお濠の現状等を把握するための勉強会を開催した。また、現在の水質浄化に向けた取組み等を踏まえ、区に対して予算要望書を提出することとした。

令和4年度に入り、7月には東京都都市整備局及び下水道局より講師を招いて勉強会を開催。10月には4年ぶりとなる区民集会を開催し、中央大学研究開発機構教授の山田正氏による講演会を実施。水質改善の仕組みや様々な取組み事例について知識を深めた。また、この1年間で得た知見をもとに、関係機関に対して水質改善と魅力ある水辺環境の再生について要望書を提出した。

令和5年度には秋谷こうき新議長を座長としてテーマを検討した結果、「これからの地域コミュニティの形成と継承」に取り組んでいくことを決定。令和6年1月には区の取組みや外部講師による事例研究などの勉強会を行った。今後は区民集会のテーマの実現に向けて、区に住む人々が互いに協力して支え合い、地域を発展させていけるようその仕組みづくりの検討を進めていく。

(3) 区民集会実施状況

実施年度	実施日	大会の方式・テーマ
昭和58年度	11月1日(火) 11月2日(水)	講演会方式 (神田保健所 214名、一番町児童館 157名) ○特別区制度を考える千代田区民集会 東京大学教授 大森 彌

実施年度	実施日	大会の方式・テーマ
昭和 59 年度	11 月 6 日(火) 11 月 7 日(水)	パネルディスカッション方式 (麴町小学校 255 名、神田小学校 332 名) ○基本計画の見直しとまちづくりについて
昭和 60 年度	11 月 6 日(水) 11 月 7 日(木)	パネルディスカッション方式 (麴町小学校 286 名、錦華小学校 478 名) ○まちづくりについて言いたいこと”なんでも” あなたの意見で明日の千代田を!
昭和 61 年度	11 月 6 日(木) 11 月 7 日(金)	講演会方式 (麴町小学校 354 名、神田小学校 433 名) ○住むまち、住めるまち千代田を目指して! あなたが主役、千代田のまちづくり! 東京工業大学教授 熊田 禎宣
昭和 62 年度	11 月 17 日(火) 11 月 18 日(水)	パネルディスカッション方式 (麴町小学校 254 名、佐久間小学校 434 名) ○私たちが主役、千代田の街づくり
昭和 63 年度	11 月 8 日(火) 11 月 9 日(水)	パネルディスカッション方式 (麴町小学校 309 名、神田小学校 376 名) ○私たちが主役、千代田の街づくり
平成元年度	11 月 11 日(土)	寸劇と講談 (区立総合体育館 735 名) ○千代田に住む
平成 3 年度	11 月 13 日(水) ~14 日(木)	町会長を対象としたセミナー (西熱海ホテル 155 名) ○実践!千代田の街づくり
平成 4 年度	10 月 1 日(木)	区民総決起大会 (九段会館 約 800 名) ○大会スローガン いつまでも住みつづけられる街を! (相続税軽減を求める千代田区民総決起大会)
平成 5 年度	10 月 7 日(木)	区民総決起大会 (千代田区公会堂 約 800 名、デモ行進 約 300 名) ○大会スローガン 都心から生活者を追い出すな! (相続税・固定資産税大幅減税千代田区民総決起大会)

実施年度	実施日	大会の方式・テーマ
平成6年度	11月9日(水)	区民総決起大会（一橋中学校 約600名） ○大会スローガン 住み続けます このまちが好きだから （固定資産税・相続税大幅減税千代田区民総決起大会）
平成7年度	11月6日(月)	区民総決起大会 （千代田区公会堂 約650名、デモ行進 約450名） ○大会スローガン 千代田で住みたい！わたしのふるさと （固定資産税・相続税大幅減税千代田区民総決起大会）
平成8年度	11月13日(土)	都心4区区民大会（九段会館 約1,500名） ○大会スローガン いつまでも住み続けられるまちにしよう （固定資産税・相続税の大幅軽減を求める都心4区区民大会）
平成9年度	11月4日(火)	都心5区区民大会（日比谷公会堂 2,107名） ○大会スローガン いつまでも住み働き続けられるまちにしよう （固定資産税・相続税の大幅軽減を求める都心5区区民大会）
平成10年度	7月28日(火)	区民大会（秋葉原駅前広場 約800名） ○大会スローガン 夢のある21世紀の秋葉原を Next AKIBA. （21世紀のアキバをつくる千代田区民大会）
	10月28日(水)	都心6区区民大会（九段会館 約1,200名） ○大会スローガン このまちに住み働き続けたい！ みんなの願いです （固定資産税・相続税の大幅軽減を求める都心6区区民大会）
平成11年度	11月2日(火)	都心6区区民大会（九段会館 約1,130名） ○大会スローガン このまちの未来と子どもたちのために 実現しようみんなの願い！ （固定資産税・相続税の大幅軽減を求める都心6区区民大会）

実施年度	実施日	大会の方式・テーマ
平成 12 年度	10 月 20 日(金)	<p>都心 6 区区民大会（九段会館 約 945 名）</p> <p>○大会スローガン 21 世紀も住み働き続けたい私たちのまちに 実現しようみんなの願い （固定資産税・相続税の大幅軽減を求める都 心 6 区区民大会）</p>
平成 13 年度	10 月 5 日(金) 10 月 23 日(火)	<p>区民会議、第 4 委員会室 区民会議、第 4 委員会室 ※千代田区民会議として発足し、要請行動を 行った。その開催日を実施日として掲載。</p> <p>○連合町会、町会、業種別団体等の代表者 による署名及び陳情書の提出（固定資産税の大 幅減税を求める千代田区民会議） 「固定資産税の大幅減税陳情書」の提出</p> <p>11 月 2 日（金）総務大臣、財務大臣 11 月 5 日（月）東京都知事、東京都議会議長 11 月 14 日（水）政府税制調査会会長</p>
平成 14 年度	9 月 2 日(月)	<p>固定資産税・相続税の大幅減税を求める千代 田区民会議セミナー （千代田区公会堂 約 350 名）</p> <p>「固定資産税・相続税の大幅減税陳情書」の 提出</p> <p>10 月 28 日（月）財務大臣、政府税制調査会会長 10 月 29 日（火）東京都知事、東京都議会議長 10 月 31 日（木）総務大臣</p>
平成 15 年度		<p>※本年度より、固定資産税・相続税の大幅減税 を求める要請行動については、執行機関が行っ ていくことになり、活動方針について確認し た。その日を実施日として掲載。</p> <p>○連合町会、町会、業種別団体等の代表者 による署名及び陳情書の提出 「固定資産税・相続税の大幅減税陳情書」の提出</p> <p>12 月 17 日（水）財務大臣 12 月 19 日（金）総務大臣、政府税制調査会会長 12 月 24 日（水）東京都知事、東京都議会議長</p>

実施年度	実施日	大会の方式・テーマ
平成 16 年度		<p>※固定資産税・相続税の大幅減税を求める要請行動は、執行機関が主体となり、区議会や町会とともに要請行動を行った。</p> <p>○連合町会、町会、業種別団体等の代表者による署名及び陳情書の提出 「固定資産税・相続税の大幅減税陳情書」の提出</p> <p>11月18日（木）東京都知事、東京都議会議長 12月10日（金）総務大臣、政府税制調査会会長 12月13日（月）財務大臣</p>
平成 17 年度		<p>○各連合町会会長の連名による要望書の提出 「三位一体の改革による住民税フラット化に関する要望書」の提出</p> <p>12月13日（火） 内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、経済財政政策担当大臣、衆議院議長、参議院議長</p>
平成 18 年度	9月11日(月)	<p>○千代田マンション管理交流会との意見交換会（第4委員会室 21名）</p> <p>○マンション住民との共生 「マンション住民からみた地域との交流の実態、事例等、マンション住民の意識など」</p>
	12月15日(月)	<p>○千代田マンション管理交流会と議会運営委員との懇談会（第4委員会室 27名）</p> <p>○マンション居住者と地域との関わりや、マンション居住者と行政の関わり方</p> <p>①既存のコミュニティ組織（町会）とマンション居住者との共生のあり方 ②マンション居住者への区役所・出張所の支援のあり方</p>
平成 19 年度	—	—
平成 20 年度	10月20日(月)	<p>区民集会運営協議会（第1委員会室）</p> <p>○今後の区民集会について</p>
平成 21 年度	11月20日(金)	<p>区民講演会：皇居周辺の景観と観光を考える（7階議場 約150名）</p> <p>○テーマ「皇居の自然と区民のくらし」 レストランジャーナリスト 犬養 裕美子 明治大学大学院教授 青山 侑</p>

実施年度	実施日	大会の方式・テーマ
平成 21 年度	2月 23 日(火)	区民講演会：皇居周辺の景観と観光を考える (第 1、第 2 委員会室 85 名) ○テーマ「江戸の見附で千代田を見つける」 一級建築士 木下 栄三
平成 22 年度	5月 18 日(火)	歩いて知ろう！江戸城ウォーク（皇居・東御苑 周辺 約 200 名） ○専門のガイドによる皇居東御苑等のツアー
	8月 25 日(水)	宮中雅楽と観光の夕べ（和田倉噴水公園レスト ラン 約 100 名） ○区内の観光関係団体と皇居やその周辺の景 観について、観光の視点から考えるための意見 交換会。宮内庁による雅楽の演奏
	10月 14 日(木)	千代田の景観と観光を考えるシンポジウム (明治大学駿河台キャンパス 約 400 名) 講演会・パネルディスカッション ○テーマ「江戸時代の武士と庶民、 そして現代社会」 パネルディスカッション ○テーマ「江戸時代から現代、そして未来へ ー千代田の魅力を再発見ー」
	10月 30 日(土)	江戸城ウォーク、オープンバスから眺める千代 田の史跡ツアー ※荒天により中止
	11月 6 日(土)・ 13 日(土)	オープンバスから眺める千代田の史跡ツアー (皇居周辺 各回約 200 名) ○1日 6 便運行、計 2 日間開催
平成 23 年度	12月 16 日(金)	区民集会運営協議会（第 1 委員会室） ○今後の予定について
平成 24 年度	10月 22 日(月)	講演会方式（共立講堂 約 400 名） ○テーマ「東京の震災を考える ーそのとき千代田は？わがまちは？ー」 明治大学政治経済学研究科特任教授 中林 一樹

実施年度	実施日	大会の方式・テーマ
平成 25 年度	10 月 28 日(月)	講演会方式 (7 階議場 約 120 名) ○テーマ「災害につよいコミュニティづくり ～マンションと地域コミュニティ～」 防災危機管理アドバイザー 山村 武彦
平成 26 年度	11 月 18 日(火)	講演会・パネルディスカッション (共立講堂 約 400 名) ○テーマ「災害につよいコミュニティづくり ～マンションと地域コミュニティ～」 第一部 講演会 明治大学大学院教授 青山 侑 第二部 パネルディスカッション パネリスト 麴町消防団本部副分団長 木ノ島希久子 神田淡路会会長 大塚 實 麴町消防署長 齋藤 祐治 千代田区副区長 山口 正紀
平成 27 年度	2 月 12 日(金)	区民集会運営協議会実施 (第 2 委員会室) ○区民集会のテーマについて
平成 28 年度	7 月 19 日(金)	区民集会運営協議会 (第 2 委員会室) ○区民集会のテーマについて ○座長案の確認
	11 月 2 日(水)	区民集会運営協議会 (第 2 委員会室) ○舟運による河川視察 (案) について ○今後の方向性について確認
	2 月 27 日(月)	区民集会運営協議会 (第 2 委員会室) ○舟運による河川視察 (案) について ○視察内容、実施時期の確認
平成 29 年度	4 月 27 日(木)	区民集会運営協議会 (和泉橋出張所) ○舟運による河川視察について ○神田川、日本橋川、隅田川、豊洲運河を舟運 により視察実施
	10 月 31 日(火)	区民集会運営協議会 (第 2 委員会室) ○今後の予定について ○河川の他、濠も含めた水辺の利活用と区民集 会開催に向けた勉強会について確認

実施年度	実施日	大会の方式・テーマ
平成30年度	4月11日(水)	区民集会運営協議会、勉強会 (第1、第2委員会室) ○テーマ「千代田の水辺空間 ～その歴史・文化と未来への可能性～」 法政大学特任教授 陣内 秀信
	7月27日(金)	区民集会運営協議会、勉強会 (第1、第2委員会室) ○テーマ「外濠と神田川・日本橋川の水質について、神田川上流部強雨時における下流部の洪水影響」 中央大学教授 山田 正 ○テーマ「被災時における防災船着場の役割」 まちふね未来塾 阿部 彰
	10月29日(月)	区民集会(7階議場 約60名) 意見発表、パネルディスカッション ○テーマ「水辺の利活用について」 第一部パネリスト意見発表 第二部パネルディスカッション まちふね未来塾 阿部 彰 建築家、画家 木下 栄三 まちふね未来塾 高松 巖 ちよだりバーサイドプロジェクト 岡田 邦男 千代田区環境まちづくり部長 保科 彰吾 ○議長、各連合町会長連名による要望書の提出 「皇居周辺の濠、河川の水質改善を求める要望書」の提出 12月12日(水) 国土交通大臣、環境大臣、東京都知事 (なお、区議会として同趣旨の「意見書」を議決し送付)
	2月4日(月)	区民集会運営協議会実施(第2委員会室) ○区民集会の結果について ○今後の予定について
令和元年度	7月18日(木)	区民集会運営協議会実施(第2委員会室) ○区民集会のテーマについて
	9月17日(火)	区民集会運営協議会実施(第2委員会室) ○区民集会のテーマについて

実施年度	実施日	大会の方式・テーマ
令和元年度	11月22日(金)	区民集会運営協議会実施(第1委員会室) ○区民集会のテーマについて
令和2年度	7月21日(火)	区民集会運営協議会実施(第1委員会室) ○区民集会のテーマについて
	10月22日(木)	区民集会運営協議会実施(本会議場) ○治水対策について ・国土交通省提供の映像「荒川氾濫」視聴 ・ハザードマップを用いた説明 千代田区災害対策・危機管理課長 千賀 行
令和3年度	4月22日(木)	区民集会運営協議会、 視察(大手町タワー ENEOSビル 3×3 Lab Future) ○お濠の浄化について ・浄化施設の見学 ・お濠の現地調査
	7月19日(月)	区民集会運営協議会実施(第1委員会室) ○区民集会のテーマについて
	10月28日(木)	区民集会運営協議会実施(第1委員会室) ○区民集会のテーマについて
	12月14日(火)	区民集会運営協議会、勉強会(第1委員会室) ○お濠の浄化について ・「水都ちよだの復興を目指して」 千代田区環境まちづくり部長 印出井 一美 ○今後の取り組みについて ・運営協議会として、区に予算要望書を提出することを決定
	1月11日(火)	○座長、副座長連名による予算要望書を区長宛てに提出 「アオコの除去を行うなどの水質改善対策」 「水質調査・分析評価」 「水辺空間が潤い、憩い、賑わい、交流の空間として再生するための調査・研究」 を要望

実施年度	実施日	大会の方式・テーマ
令和4年度	7月21日(木)	区民集会運営協議会、勉強会 (第1、第2委員会室) ○テーマ「お濠の浄化」 東京都 都市整備局 都市づくり政策部 広域調整課 水資源・建設副産物担当課長 増井 潔 下水道局 計画調整部 計画課 水質改善事業推進専門課長 川名 幸男
	10月28日(金)	区民集会講演会(本会議場 約60名) ○テーマ「東京水循環の再生に向けてー外濠・日本橋川・玉川上水・隅田川ー」 中央大学名誉教授 同大学研究開発機構教授 山田 正
	3月14日(火)	○議長、連合町会長の連名による要望書を国土交通省、環境省、東京都へ提出 「地域自治体、民間事業者、各種団体等の連携強化」 「外濠の現状や重要性の情報発信を行い住民とともに行うまちづくりの実現」 「玉川上水等の活用による広域的な水の循環を促進する対策」 を要望
令和5年度	7月24日(月)	区民集会運営協議会(第1、第2委員会室) ○区民集会のテーマについて
	10月26日(木)	区民集会運営協議会(第1、第2委員会室) ○区民集会のテーマについて
	1月30日(火)	区民集会運営協議会、勉強会 (第3、第4委員会室) ○これからの地域コミュニティの形成と継承 ・「千代田区のコミュニティ支援について」 千代田区コミュニティ総務課長 千賀 行 ・「エリアマネジメントの取組み」 千代田区景観・都市計画課長 前田 美知太郎 ・「これからの地域コミュニティの形成と継承に必要なこと」 合同会社フォーティ R&C 水津 陽子

令和 6 年度区民集会・区民集会運営協議会開催概要

1 令和 5 年度の実施

(1) 実施テーマの決定

「これからの地域コミュニティの形成と継承」

千代田区では町会活動により地縁関係が醸成され、地域コミュニティの中核が担われてきた。しかし一方で、マンション建設等による新しい住民の増加により、地域住民同士の関係性が複雑化し町会運営も難しい状況になっている。これからも千代田区に住む人々が町会はもとより、各種団体等とも互いに協力して支え合い、地域を発展させていけるよう、その仕組づくりを検討する。

(2) 勉強会の実施

[1] 地域コミュニティに関する区取組(コミュニティ総務課、景観・都市計画課)

[2] 外部講師による事例研究(合同会社フォーティ R&C 水津陽子講師)

(参考資料参照)

2 令和 6 年度の開催予定

(1) 令和 6 年度第 1 回区民集会運営協議会(本日)

令和 5 年度に実施された内容や令和 6 年度実施予定の確認

(2) 令和 6 年度区民集会(令和 6 年 10 月頃を想定)

区議会議場にてシンポジウムを開催

テーマに関する情報の共有や理解を深め千代田区が目指す姿の検討を進める

[1] 基調講演(講師調整中)

[2] パネルディスカッション(座長、基調講演講師ほか予定)

(3) 令和 6 年度第 2 回区民集会運営協議会(令和 7 年 1 月頃を想定)

令和 5 年度・6 年度取組を踏まえた区への提言書案の確認

区民集会運営協議会設置要綱

(昭和 60 年 5 月 15 日 議長決裁)

改正 平成 11 年 7 月 5 日 議長決裁

改正 平成 22 年 7 月 14 日 議長決裁

改正 平成 23 年 12 月 8 日 議長決裁

改正 平成 25 年 5 月 30 日 議長決裁

改正 平成 25 年 10 月 21 日 議長決裁

(趣旨)

第 1 条 千代田区民を取り巻く環境は、コミュニティ等の地域活力の低下、都市化による住環境の悪化、少子・高齢化の進展等、一段と厳しさを増している。特に、経済の低成長化の中で区民生活を圧迫している地域経済は、深刻化かつ長期化している。

また、「基礎的地方公共団体」として、地方分権の潮流から一段と自主性・自立性が求められている。

このような状況を踏まえたとき、住民自らが歴史と伝統に培われた千代田区を守り、発展させていくため、千代田区の抱える諸課題に対して、連帯感をもって、主体的に取り組むことが求められている。

このため、住民が一体となって論議する場の必要性が認識され、昭和 58 年から「区民集会」を開催し大きな成果を収めてきたところである。

さらに、平成 8 年からはこの「区民集会」が中心となり、都心区が一体となった共同での「区民大会」も開催している。

この「区民集会」を将来にわたってさらに充実発展させていくため、区民集会の企画及び運営等に関する協議の場として「区民集会運営協議会」（以下「協議会」という。）を設置する。

(協議事項)

第 2 条 協議会の協議事項は次のとおりとする。

- (1) 区民集会の企画及び運営に関する事項
- (2) 区民集会に対する関係団体との連絡調整に関する事項

(構成)

第 3 条 協議会は、連合町会長、区議会議長、副議長、議会運営委員会委員により構成する。

(委員の委嘱)

第 4 条 協議会の委員は区議会議長が委嘱する。

(委員の任期)

第5条 委員の任期は、区議会議長が委嘱した日から、第3条に定める各職にある期間までとする。

(座長及び副座長)

第6条 協議会に座長及び副座長を置き、それぞれ次の各号に掲げる職にある者をもってあてる。

(1) 座長 区議会議長

(2) 副座長 千代田区連合会長協議会会長

2 座長は協議会の運営を司る。

3 副座長は、座長を補佐し、座長に事故あるときは、その職務を代理する。

(招集)

第7条 協議会は区議会議長が招集する。

(関係者の出席)

第8条 区議会議長は、必要に応じて協議会に有識者等関係者の出席を求めることができる。

(会議の公開等)

第9条 座長は会議に諮り、会議の公開、非公開を決定する。

(事務局)

第10条 協議会の事務局は、区議会事務局に置く。

(補則)

第11条 この要綱に定めるもののほか、協議会の運営やその他必要な事項は、区議会議長が定める。

附則

この要綱は、昭和60年5月15日から施行する。

附則(平成11年7月5日11千議発第103号)

この要綱は、平成11年7月5日から施行する。

附則(平成22年7月14日22千区議会発第152号)

この要綱は、平成22年7月14日から施行する。

附則(平成23年12月8日23千区議会発第233号)

この要綱は、平成23年12月8日から施行する。

附則(平成25年5月30日25千区議会発第60号)

この要綱は、平成25年5月30日から施行する。

附則(平成25年10月21日25千区議会発第168号)

この要綱は、平成25年10月22日から施行する。

千代田区のコミュニティ支援について

1. 地域コミュニティ活性化事業

(1) 目的

地域を越えた交流の促進や新しいリーダーの掘り起こしなど、地域コミュニティの活性化をめざして、地域が自ら企画、実施する地域全体の規模で実施するイベント等事業について支援する。

(2) 対象

連合町会を中心とした地域の組織で構成する実行委員会

(3) 事業内容

事業年度：2か年

補助限度額：2年間 400 万円

(4) 令和4年度実績：6件（3年度：3件、2年度：4件、元年度：7件）

2. コミュニティ活動事業助成

(1) 目的

コミュニティの活性化を目的に地域が企画、実施する小規模なコミュニティ事業（納涼大会や餅つきなど）に支援する。

(2) 対象

町会、連合町会、商店街、PTA、その他の地域の団体で地縁により組織され、区民が構成員として参加する団体。

(3) 事業内容

1 団体限度額：15 万円（子どもの遊び場確保のために道路開放を行う事業は7万円）

助成率：助成対象経費の3分の2

(4) 令和4年度実績：70 団体助成（3年度：7 団体、2年度：7 団体、元年度：81 団体）

3. 地域コミュニティ醸成支援

(1) 目的

都心千代田区にふさわしいコミュニティの考え方をまとめるとともにコミュニティ施策の一元的推進に向けた取り組みを展開する。

(2) 事業内容

地域コミュニティの現状と課題調査、意見交換の実施
情報発信地域活動に関する相談・支援

(3) 令和4年度実績

ア. 地域課題解決支援

- 対面及びオンライン・ハイブリットによるイベント開催、計4回、69人参加
- イ. マンション・コミュニティ・ゼミ
計6回 140人参加
 - ウ. 交流会「ちよだコミュニティラボライブ！」
計8回 136人参加

町会の新しい取組み事例集

～イベント開催の工夫やデジタル活用など～

町会活動に、より多くの人に参加してもらえるように、ホームページでまちの情報を共有する、オンライン・ツールを使ってコミュニケーションを活性化し、親子参加の交流の場をつくる、学生などの力を借りるなど、各町会で新しい動きが始まっています。

2023年3月22日に開催されたイベント「地縁コミュニティを未来志向で考えてみよう!」では、区内の町会の取組みが紹介されました。イベントでは、新しい人に関心を持ってもらうには「楽しい」を伝えることが大切という話にもなりました。

この資料では、イベントで紹介された事例の背景、工夫、ポイントなどをまとめました。町会活動のヒントとしてご活用いただければ幸いです。

多町二丁目町会

HPでの情報発信 住民向けのイベント開催

内容

都の「地域の課題解決プロボノプロジェクト」を活用し町会独自のホームページを開設。町会員でない人向けにも、町会と神田祭を紹介するイベントを実施。

背景

町会の活性化のため、町会内にあるマンションのファミリー層との接点をつくりたい、町会の様子を発信し、多くの人に目にしてもらいたいという思いから。

工夫していること

HP上で明確に地域の住民へ呼びかけ、子どもが楽しめるイベントによりファミリー層との接点をつくる。イベント参加者にはHPのQRコードを案内し今後も情報を届ける。

地域でおきていること

「もっと知って神田」はお子さんが30人も参加するイベントに。今後も、毎年秋、開催していく予定。

ポイント

- ✓ HPを通じて、町会活動を内外に紹介
- ✓ 地域の住民（非会員の人）にメッセージを示す
- ✓ 「祭」を活かしたファミリー層へのアプローチ

多町二丁目町会 ホームページ



「もっと知って神田!」イベント開催

田畑 秀二会長



ホームページ

<https://ta2member.wixsite.com/home>

西神田町会

YouTubeチャンネルを活かし
身近な地元情報や町会行事を動画で紹介

内容

町会行事やご近所の様子や地域のイベントなどの地元情報を、YouTubeチャンネルで紹介。

背景

コロナ禍に高齢者向けのLINE講座をしたが、結局使われないため、「おもしろそう」というスマホを使うきっかけを提供したい、動画を一緒に作ることでつながりを作りたいと考えたため。

工夫していること

誰でもできるように、スマホで、撮影・編集し、短い動画を作成。ご近所の様子を伝え、身近に感じてもらえるように。また、担当も楽しみながら、楽しい動画を作成。

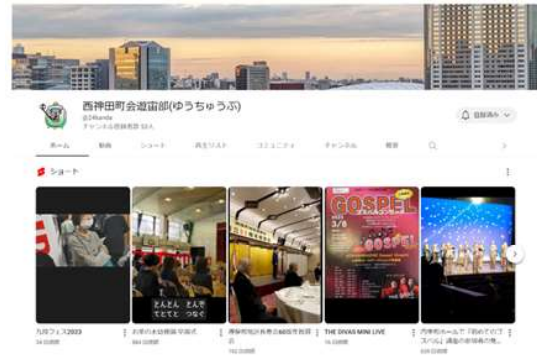
地域でおきていること

動画の撮影・編集が得意な人がメンバーに、また、内外に町会行事や様子が伝わるようになった。将来的には、町会員がそれぞれで撮影・投稿できるようにしたい。

ポイント

- ✓ 手軽に、気軽に動画制作・投稿
- ✓ 自分の「したいこと」「できること」ができる町会
- ✓ 楽しんで活動することが、町会の魅力を伝えることに

西神田町会遊宙部 (YouTubeチャンネル) トップ画面



編集講座の報告動画



角田 光正会長



YouTube
チャンネル

<https://www.youtube.com/@24kanda>

東松下町々会

新しい人とコミュニティづくりを目指し
誰もが参加できる多彩なイベントを実施

内容

新しい人も気軽に参加できる「町会って楽しそう」と思ってもらえるイベントを多彩に開催。また、HP、SNS、紙媒体と、多様なメディアで町会の行事や取組を発信。

背景

小学校跡地に建設された区営及び民間の集合住宅の新しい住民(従来の居住者の4倍以上)をどう受け入れ、一緒にコミュニティを作っていくかが、課題となっていた。

工夫していること

参加してもらうことが一番と、町会の加入の有無にかかわらず地域の子どもたちが参加できるラジオ体操や1年生を迎える会などのイベントを開催。イベント参加した保護者が必要を感じたら加入してもらえるように期待。イベントには地域の企業や団体の協力を得ることも。

地域でおきていること

民間集合住宅も3割程度の人が町会に加入。子どもが増えたことが地域の活性化にもつながっている。

ポイント

- ✓ 自分から入りたい!と思える町会に
- ✓ イベントはまずは誰もが気兼ねなく参加できるように
- ✓ 新しいコトは、何かできそうなことからやってみる

子どもたちが楽しめるイベントの開催



写真コンテスト



東松下町々会
関 真弓さん



ホームページ

町会の方に昔の写真を提供していただき、現在の様子と見比べました

<https://higashimatsushitacho.tokyo/>

富士見二丁目町会

ミニイベントとLINE公式を活かし、新しい人との多様な接点をつくる

内容

「役立つ」と「楽しい」の2軸のミニイベントを数多く実施（LINE教室、ミニ四駆イベント、クリスマス会など）。LINE公式での町会や地元情報の発信。

背景

町会内の一部のマンションの全戸加入がなくなり、個人で加入してもらえるようなPRが必要に。また、HPの閲覧数が伸びないため、新たな接点を作る必要がでてきた。

工夫していること

役員でイベントアイデアを出し合い、実施は法政大学の学生や地域の育児サークルなどと連携したり、協力してもらっている。イベント参加者にはLINE公式のQRコードを紹介し、継続的に情報を届けられるようにしている。

地域でおきていること

子供向けイベントは400人以上が参加するイベントに。ここからどれだけ町会加入につながるかは、これから。

ポイント

- ✓ イベントと情報提供のセットで、接点をたくさんつくる
- ✓ 自分たちでできないことは、他の団体の力を借りる
- ✓ 町会に入ると「役立つ」「楽しい」を見せていく

ミニイベント



春の二丁目まつり
富士見二丁目広場に集まろう！
3月12日(日) 13:00~15:30
無料

キッズフリマ ミニ四駆レース
ポッチャ ブラレール
体力測定

※当日雨天の場合は内容を変更して富士見区民館にて実施します！

富士見二丁目町会 主催 TEL.090-4009-1107
東京大神宮通り・飯田横西口通り商業連合会 協力



法政大学ボランティアセンター & 富士見二丁目町会 合同企画
街歩きに役立つ スマホ知識補給！
スマホを使って 街歩きをしよう！

電子マネー Googleマップ QRコード 天気予報の使い方
LINEの使い方 写真の撮り方 送る方 歩数計

法政大学の学生ボランティアが、スマホの使い方を丁寧にレクチャー！法政大学や靖国神社を街歩き！

日時：11月13日(日) 13:00~15:00
集合場所：富士見区民館 地下1階
募集人数：20名
持ち物・格好：スマホ、飲み物、歩きやすい靴

<お申し込み> 富士見二丁目町会
電話：090-4009-1107 (担当：渡辺) どちらか都合がある方に
090-3345-8411 (担当：永田) どちらか都合がある方に
E-mail: yutoimai32@gmail.com (担当：今井)

雨天の場合は、室内でスマホの使い方だけを実施します。皆さまのご参加をお待ちしています。

二丁目広場子どもまつり



鍋木雅裕町会長 及川浩二朗副町会長
(総務広報部長)



ホームページ



<https://fujimi2.sakura.ne.jp/>

飯田町町会

地域の人にあまねく情報を届けるために町会HPとLINE公式を開設

内容

在住、在勤など地域のすべての人たちに必要な情報を届けるため、町会が知っている情報や町会活動情報をホームページ（HP）とLINE公式で情報発信。

背景

町会には区や色々な機関からの情報が大量に届いているが、全てを届けられない状況だった。特に一部の人のみ必要とする情報は届きにくいという懸念もあった。LINEはお年寄りも使っている人も多いため、有効と判断。

工夫していること

HPやLINE公式には、千代田区や千代田区社会福祉協議会、地元の商店会のHPへつながる入り口も掲載。必要としている人が必要な情報にたどり着くように工夫。

地域でおきていること

HP開設の試行中にも、2人から町会加入の申し込みがあった。地域のためにという思いや姿勢に共感した人が町会に入ってくれるのではと考えている。

ポイント

- ✓ 地域のすべての人に貢献できる町会に
- ✓ 町会が地域の人に情報を届ける入り口に
- ✓ LINEの特性を活かし、情報発信

飯田町町会ホームページ トップ画面



LINE公式画面



松村 善一会長



ホームページ



<https://iidamachi.com/>

自己紹介 5つの質問を使って、交流してみませんか？

千代田区で多様な分野、テーマで活動する人が交流するイベント「ちよだコミュニティラボライブ！2023」が2023年3月11日に開催されました。町会、地域活動、サークル、大学などの活動に参加する約70名が、自分が活動を始めたきっかけ、楽しさ、苦労・工夫、これからのことを“自分のストーリー”として話し、交流しました。

区内では多種多様な活動者がいますが、異なるテーマの人が出会う機会は少なく、知り合えていません。

町会長、マンション住民、学生が共通の「自己紹介 5つの質問」を使って話すことで、初めて会った人の間にも共感が生まれていました。

参加者の声より

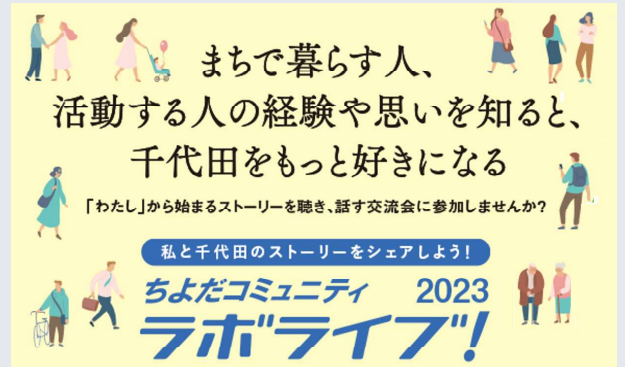
○千代田には、こんなにたくさんのそれぞれ違うことをやっている人がいるんだとびっくりした。

○活動名は知っていたが、なぜ始めたのか、何が楽しいのか知れて、参加してみたくなった

○自分を開示することから交流が始まると思った

この交流で新しい人とも、前から知っている人とも距離が近づくと好評をいただきました。

地域の活動でも総会や交流会などで「自己紹介 5つの質問」を使ってみませんか？



【自己紹介 5つの質問】

1. 今、どんなことをしていますか？
2. それを始めたきっかけは？
3. 楽しいことは？ 続けている理由は？
4. 苦労や難しさは？どんな工夫をしている？
5. これからしたいことは？

内神田鎌倉町会 斎藤会長への5つの質問



1. 町会長、民生委員をしています
2. 生まれた時から神田のまちに関わっています
3. 久しぶりの祭りをみんなで準備するのが楽しいです。江戸最古町を若い世代につなげるよう続けてきました。
4. ブログで情報を共有し、活動を理解してもらう工夫をしています。それが祭りの寄付にもつながるでしょう。
5. 今のマンションの子どもが将来の町会長になるかも！

岩本町三丁目町会 企画広報部長 早川さんへの5つの質問



1. 岩本町・東神田ファミリーバザール実行委員会
2. 出展企業でしたが町会役員さんに誘われて
3. 会の運営を通し地域活性化に貢献できること。町会で神田祭に参加し、そこでもつながりが広がりました
4. 家族連れや若手の参加を促すようLINEでの情報交換や役割分担の偏りをなくすなどの工夫をしています。
5. どちらの活動も理解を広げ、参加者を増やしたいです

千代田で活動する多様な方の5つの質問の自己紹介を動画で掲載しています。

区内での活動を知るきっかけに、自分の活動で活用するヒントにご活用ください。

<https://x.gd/uRg1A>



千代田は「アーバニスト」のまち！
アーバニスト@千代田 で活動情報を発信しています

個人の思いから始まる活動を通して、地域の魅力と暮らしやすさを高める。その動きをする人は、

「アーバニスト」と呼ばれています。千代田で個人から始まる動き、町会やサークルの活動を紹介するサイト「アーバニスト@千代田」を公開中。ぜひご活用ください。



まちの歴史をコミュニケーションのきっかけに！
オンラインちよだ探訪（麹町・番町）レポート

新しく住み始めた方も、住む町の歴史への関心を高く持っています。六番町町会 新井会長が地域の歴史をオンラインでお話しされ、マンション住民も多数参加したイベントのレポートを配布中です。

ちよだコミュニティラボ

区内の活動する人をつなぐ、活動の情報発信、運営の活性化の相談・サポートを行っています。

chiyolab.jp

事務局
千代田区コミュニティ総務課
株式会社エンパブリック

問い合わせ
千代田区コミュニティ総務課
03-5211-3656
komisoumu@city.chiyoda.lg.jp

エリアマネジメントの取組

環境まちづくり部
景観・都市計画課

エリアマネジメントとは

地域における良好な環境や地域の価値を維持・向上させるための、
住民・事業主・地権者等による主体的な取組み

エリアマネジメント



町会



商店街



活動団体



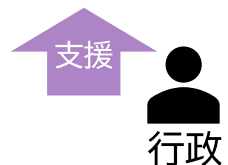
NPO法人



企業



一般社団法人



行政

エリアマネジメント団体とは



町会



商店街



活動団体



NPO法人



企業



一般社団法人

エリアマネジメント団体



まちのつなぎ役

エリアマネジメント団体の活動内容



まちについての検討



まちの賑わいづくり



まちの情報発信

エリアマネジメント団体の様々な活動

まちの
賑わいづくり

地域ルール・
コミュニティ
づくり

公共施設・
公共空間の
整備・管理

防災・防犯、
環境維持

まちの
情報発信

5

エリアマネジメント団体の分類

一体型

協議機能・実行機能

総会・役員会

- 地域課題の共有
- 解決方法の検討

●●部会

▲▲部会

- 地域課題に向けた取組の実施

分離型

協議機能

総会・役員会

- 地域課題の共有
- 解決方法の検討

実行機能

町会・商店街

NPO法人・株式会社

- 地域課題に向けた取組の実施

6

エリアマネジメント団体のメリット

地域活力の
回復・増進

資産価値の
維持・増大

地域への愛着や
満足度の高まり

7

エリアマネジメントの運営のポイント

ポイント1

「つくること」
だけでなく
「育てること」

ポイント3

多くの住民・
事業主・地権者等が
関わり合いながら
進めること

ポイント2

行政主導ではなく、
住民・事業主・
地権者等が主体的に
進めること

ポイント4

一定のエリアを
対象にしていること

8

エリアマネジメント団体の課題

収益不足

人材不足

認知度不足

継続性確保



エリアマネジメント団体間の情報共有・連携

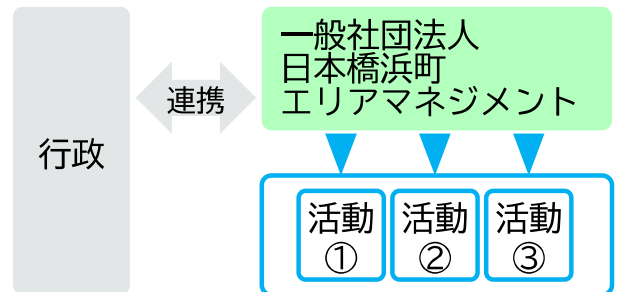
9

一般社団法人日本橋浜町エリアマネジメント

法人の紹介

- ◆ 2017年に任意組織「浜町を盛り上げる会」を発足
- ◆ 2020年に法人化し、より積極的に活動を展開
- ◆ 地元町会・商店会・企業・住民と連携しながら、以下の3つを軸にまちの価値向上・活気あふれる地域活動を推進・支援
 - まちの交流促進
 - まちのプロモーション
 - まちの環境整備

事業推進体制



- ◆ 会員は各々で活動を立ち上げることが可能
- ◆ 各活動で活動人員・活動資金を調達し、活動を運営

10

一般社団法人日本橋浜町エリアマネジメント

水について、楽しみながら、学ぼう!!

親子防災フェスティバル

消防署でのプール遊びで、夏の水難事故を防ぐ

7/30
日曜日
午前9時開始

TEL:050-6864-3804
中央区青少年対策日本橋五の部地区委員会

親子防災フェスティバル

BRIDGE

The Intersection of Nihonbashi Hamacho

Section 01
今日はどんな気分?
浜町祭裏で見つけたおススメランチスポット

Section 02
気になるここへ行ってみた
「きもの円屋」

Section 03
浜町エリアマネレポート
Vol.15

Section 04
暮らしとドボク Vol.06

Section 05
新書情報

地域情報誌 BRIDGE

- ◆ 町会が人手不足の際には、エリアマネジメント団体がサポート
- ◆ エリアマネジメント団体会員企業が町会に協賛金や協賛品の協力
- ◆ エリアマネジメント団体が町会の枠を超えて広報活動

町会アンケートへのご協力を頂きありがとうございました。調査結果の POINT をグラフ中に記載しています。

1, アンケート実施概要

各出張所の町会長会議等を通じて、区内 107 町会にアンケートを配布。

現時点(2024/04/30)での回答数 66 町会 61.7%

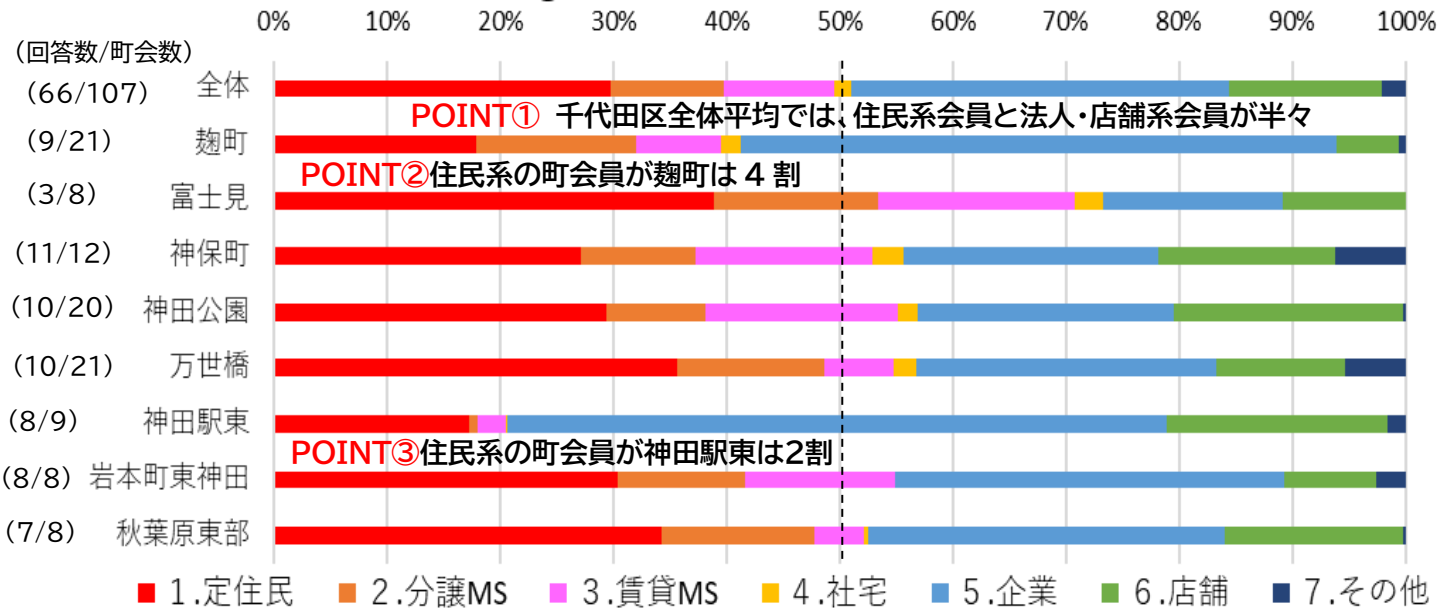
質問内容 質問1 町会員の構成割合を大体でご記入ください。

質問2 該当町会員の、増減傾向

町会員の分類 (町会構成員)		増減傾向・該当する傾向に丸印		
		増加	横ばい	減少
1. 一戸建の持家・ビル内の自宅 (ビル所有者) 元在住者 (会社はあるが住居は町会外など)	%			
2. 分譲マンションなど (又貸し含む) ※	%			
3. 賃貸マンション・民間アパートなど ※	%			
4. 社宅・会社の家族寮・公務員宿舎など	%			
5. 法人企業・自営業など	%			
6. 店舗・飲食店など	%			
7. その他 ()	%			

※マンションが1棟単位で町会加入している場合、町会員数は1棟につき「1」でカウントしてください。

2, アンケート結果概要(抜粋・速報値) ① 町会員構成分類割合



② 町会員構成分類別 増減傾向

